

那智川の地元小学生が砂防工事を体験！

～紀伊山系砂防事務所～

紀伊半島大水害で大きな被害を受けた那智川沿川にある市野々小学校の全児童を対象に、防災教育の一環として砂防工事の現場体験学習会を実施しました。

工事受注者である井筒建設（株）の協力の下、ミニショベルカーで土砂に見立てたボールをすくったり、模型を用いて石積み体験をしていただくことで、地域で行われている砂防事業について学んでいただきました。

<開催日>

令和4年6月20日（月）9:00～12:00

<開催場所>

那智川本川上流帯工（左岸）他工事（施工：井筒建設株式会社）現場内
<和歌山県那智勝浦町市野々地先>

<参加者>

那智勝浦町立市野々小学校1年～6年生【計29名】



体験① ミニショベルカーに乗って土砂災害からまちを守ろう！

地域で行われている砂防工事についてその役割などを説明し、完成してからも大雨で土砂がたまれば取り除かないといけないということを説明したうえで、プールに浮かべたゴムボールを大雨でたまった土や石などに見立てて、みんなで交代でミニショベルカーですくいあげてまちを土砂災害から守る体験をしてもらいました。



体験② 模型を使って修景工事（石積み）を体験！

那智川では景観に配慮した対策として砂防堰堤や護岸に現地の石をつける石積み工を実施しています。3、4年生と5、6年生には模型を使った石積み体験をしていただきました。実際に使われている石の重さに驚いていました。コンクリート堰堤の前に石を並べ、裏込め材を流してまた積み上げるという作業を繰り返し、きれいな石積みの堰堤が完成しました。



体験した児童の感想

- ・ミニショベルカーはうごかすのがむずかしかつたけどたのしかった。
- ・ボールがいっぱいとれたのがたのしかった。またやりたい。
- ・たくさんの石を一つ一ついねいに積んでいるのを見てびっくりした。
- ・今日みたいに暑い日もまちのために工事をしてくれていてありがたいなと思った。

校長先生の声

- ・防災学習で人々の安全につながることを学び、また地域の安全のために大人たちが必死に仕事している姿を見てもらいたいと思い実施した。今の教育は学校の中だけではできないので、本当にありがたい。今後もいろんな方々にご協力いただいて連携していければ。

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 那智勝浦監督官詰所

〒649-5302 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6 TEL 0735-55-0160

